



博物館通信



2019年1月発行 Vol.70

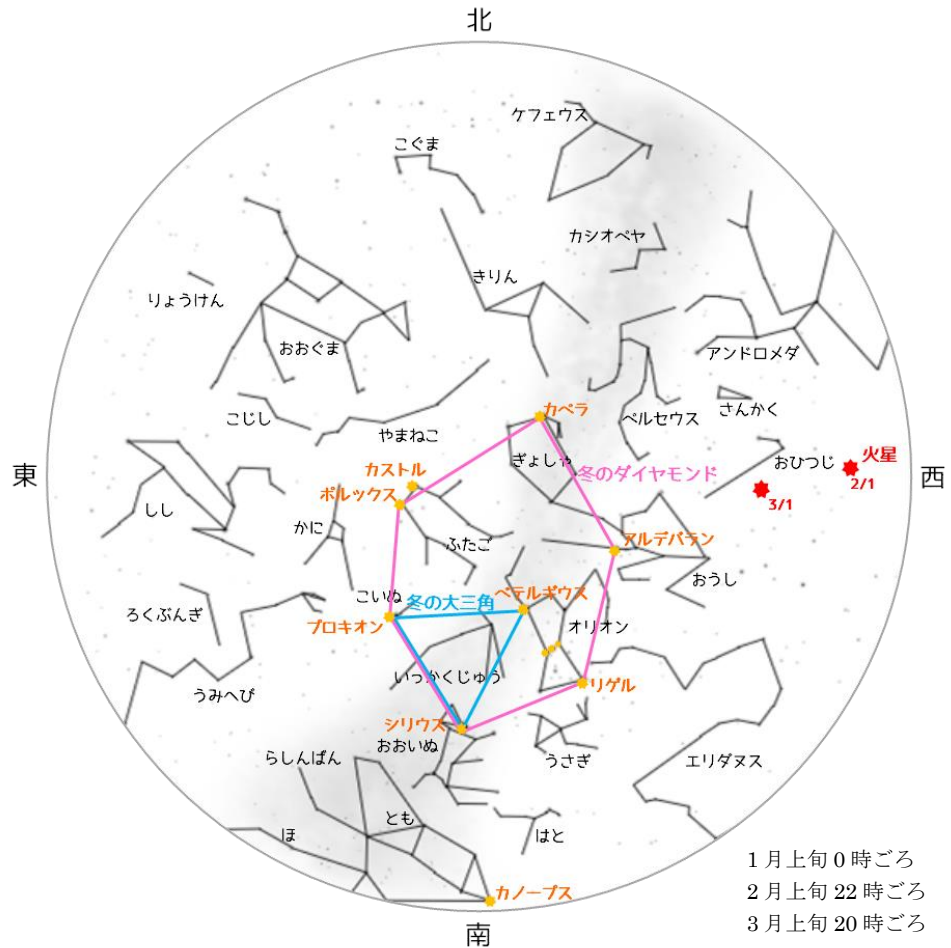
冬の星空

秋の星空とは違ってかわって、冬の星空は明るい星が多くあり、たくさんの星座たちを探ることができます。

もっとも探しやすい星座は、南の空に輝くオリオン座。オリオン座の腰にあたる3つの星「三つ星」とそれを囲む4つの星を見つけることができます。4つの星のうち左上の赤い星はベテルギウス、右下の青白い星はリゲル。

そして、オリオン座の三つ星に沿って左下で最も明るく輝く星は、全天一明るいおおいぬ座のシリウスです。オリオン座のベテルギウスから東の方角には、こいぬ座のプロキオンが明るく輝いています。このベテルギウス・シリウス・プロキオンを線で結んだ三角形を「冬の大三角」といいます。

冬の大三角の上には、ふたご座のカストルとポルックスが並び、天頂付近にはぎょしゃ座のカペラが輝いています。さらにベテルギウスから西の方角には、おうし座のアルデバランがオレンジ色に明るく輝いています。オリオン座のリゲル・おおいぬ座のシリウス・こいぬ座のプロキオン・ふたご座のポルックス・ぎょしゃ座のカペラ・おうし座のアルデバランを線で結んだ六角形を「冬のダイヤモンド」といいます。



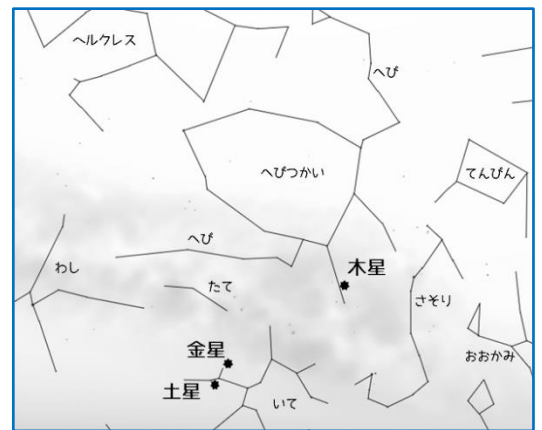
1月上旬0時ごろ
2月上旬22時ごろ
3月上旬20時ごろ

惑星たち

去年、地球に大接近して話題だった火星は少しずつ地球から遠ざかり、明るさも暗くなっています。大接近の時には-2.8等級だったのが、冬には0等級~1等級の明るさになります。22時頃には西の空低くに位置するので、日暮れ後早めの時間に見ましょう。

明け方の空には金星・木星が見え、2月中旬からは土星も見えはじめます。ただ、どの惑星も空低い位置に見えるので、高いビルや山がない場所で探してみましよう!!

暖かい服装で観察してね!!



2月中旬5時30分ごろ

小惑星「リュウグウ」 観測!!



小惑星探査機「はやぶさ2」は、2018年6月小惑星「リュウグウ」に到着してから様々な観測を行い、「リュウグウ」はどのような星なのかということが少しずつ分かってきました。

- ・直径 約 900m
- ・質量 約 4.5 億 t
- ・自転周期 約 7 時間 36 分
- ・重力 地球の 8 万分の 1
- ・表面にはほとんど水がなく、予想以上の岩石がある

リュウグウでは軽くジャンプするだけで宇宙に飛び出してしまうほど重力は小さいんだ。



「はやぶさ2」に搭載されている★小型探査ローバ「MINERVA-II1」と小型着陸機「MASCOT」が昨年投下され、無事着陸に成功しました。

★小型探査ローバ「MINERVA-II1」には「Rover-1A」と「Rover-1B」を搭載

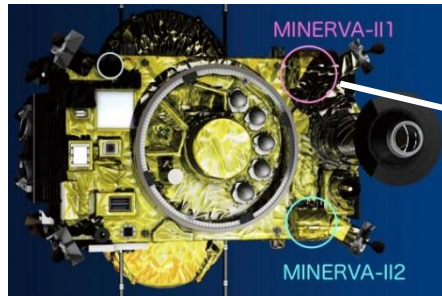


写真1 はやぶさ2の底面 (写真: JAXA)



写真2 「MINERVA-II1」に入っている Rover-1A, Rover-1B (写真: JAXA)

探査ローバには、カメラ・温度センサ・光センサ・磁力計などがつけられており、内蔵されているモーターを回転させると反動で機体が飛び跳ね移動することができます。なので、自分で移動しながらリュウグウを探査していきます。MASCOT はすでに役目を終えています。MASCOT から送られてきたリュウグウの表面温度や磁場の変化などのデータ解析が進められています。

2018年10月にはサンプル採取の第1回が予定されていましたが、着陸候補地としている場所に着陸に必要な広い平坦な場所が見つからず延期されました。候補地のさらなる調査を行うため、サンプル採取は2019年1月以降の予定です。

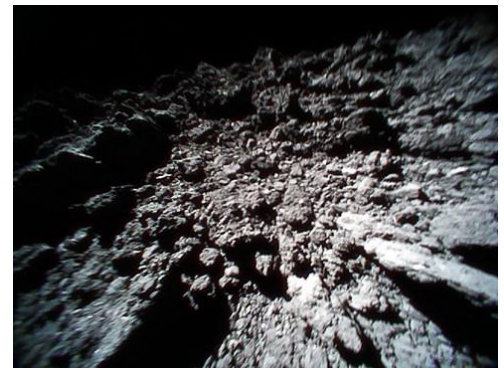


写真3 Rover-1Aが撮影したリュウグウ (写真: JAXA)



はやつー君
©haya2_JAXA

石が多くて着陸できないんだ



イベント情報

冬のこどもまつり 1/13(日)・14(月・祝)



188 cm 望遠鏡 & せいめい望遠鏡

ビンゴ大会

工作

などイベントがあります!!

※詳しくは当館HPをご覧ください



プラネタリウム冬番組「ベテルギウスの最期」

冬の夜空で輝くオリオン座の一等星「ベテルギウス」が、「超新星爆発」と呼ばれる大爆発を起こし、星の一生の最期を迎えようとしています。そのベテルギウスの驚くべき姿や、超新星爆発の様子をリアルなCGとともに紹介します。



岡山天文学博物館

〒719-0232
岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
TEL/FAX 0865-44-2465

